

★ ————— ★  
 星の文藝欄  
 ★ ————— ★

宮島天體觀測所にて

田子甫人

○

圓蓋の春空重し天文臺  
 天文臺浮く白雲と夜櫻と  
 朧夜の地は横たはる天文臺  
 森閑と天測室の春の闇  
 星雲は朧に天はかぎり無く

○

夏の街天文臺の灯る見ゆ  
 涼風のはてに煌く星測る  
 天文臺たゞ涼風の濟るのみ  
 蒼穹の星を衛りて白夜果つ  
 夏雲の四方に動ける天文臺

○

宮島氏所藏天球儀る句

秋深くとり出て古き天球儀  
 秋の灯に大き影もち天球儀  
 天球儀前に秋夜の遅々と更く

○

階段へ秋の燭採る天文臺  
 秋閑けし階踏み踏みて天文臺  
 宵闇の狭き階踏む天文臺  
 星衛る四邊の扉ひそと閉づ  
 世を距つ扉の裡に星を観る

燦爛の星座まともにドム開く  
 スリツトに廻るオリオン面のあたり  
 天文臺星の光の外はなく  
 星指して望遠鏡のひた向きに  
 望遠鏡ひたと合せて星と更く  
 天の川ややに傾く天文臺  
 星衛る衣に露の重りつゝ

○

天文臺地の面に著き雪の嶺  
 寒星を指してレンズの澄き透る  
 天文臺燭はやらがず霜降る  
 地は凍えて四肢は凍えつゝ星と活く  
 地は凍えて星座おのおの移るのみ

○

### 宮島天體觀測所主

新星と語る瞳の輝かに

### 日食座談會開催

日時 7月19日(日) 午後6時30分より

場所 京都市東一條 帝大學友會館

花山天文臺日食觀測隊諸先生及び京阪地方より北海道  
 へ出張せる會員を中心として6月19日の日食を語る  
 會・觀測發表、寫眞展觀、會員諸氏の多數出席を希望  
 する。

京星會・東亞天文協會